

平成30年度大阪府立大学校友会第1回評議員会議事録

平成30年度大阪府立大学校友会第1回評議員会が、平成30年5月27日（日）午前11時より、「I-site なんば」C1にて校友会理事会と同時開催された。

議事に先立ち、事務局から評議員会の成立要件を満たしている旨の報告があり、評議員会の成立を確認した後、東野会長及び辻学長の挨拶があり、東野会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 評議員の交代について

議長から資料1に基づき、評議員の交代について報告がなされ、了承された。

2. 役員の交代について

議長から資料2-1及び2-2に基づき提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

3. 校友会入会状況について

事務局から資料3に基づき、平成29年度の校友会入会状況について説明があった。

4. 平成29年度事業・収支決算について

事務局から資料4-1に基づき、平成29年度に実施した校友懇話会、卒業生による就職セミナー（卒業生との懇談会）、夢こもんず等の事業について報告がなされた後、乾会計理事から、資料4-2・3・4に基づき平成29年度の収支決算等について報告、そして矢本監事から資料5に基づき監査報告がなされ、それぞれ了承された。

5. 平成30年度事業計画について

議長から資料6に基づき、平成30年度事業計画について提案がなされた後、1～9の項目について事務局から説明された後、原案のとおり了承された。

6. 平成30年度予算について

議長から資料7に基づき、平成30年度予算について提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

7. 第9回ホームカミングデー2018に合わせた同窓会行事の開催について

事務局から資料8に基づき、平成30年11月4日（日）に大学と共催で実施するので、第9回ホームカミングデーに合わせた同窓会行事の開催についてお願いがあった。

8. その他

- (1) 上田卒業生室長から「つばさ基金」の寄附実績、活用事例等について、報告がなされた。
- (2) 今回の評議員会議事録署名人として横山良平評議員及び松田博幸評議員が指名された。
- (3) その他（役員・評議員からの意見）

東野会長：校友会の会長については、慣例として、工学、農学、経済の順序で選出されていたが、今後は、各单位同窓会及び地域同窓会からも選出されるように検討していきたい。

秦 理事：平成 29 年度の事業報告によると、大学主催の中百舌鳥キャンパスで開催された「保護者のためのオープンキャンパス」を校友会が支援しているが、りんくうキャンパスでも獣医学友会主催の「保護者のためのオープンキャンパス（保護者を対象にした学舎見学ツアー）」を開催しているので校友会からの援助をお願いしたい。

矢本監事：大阪市立大学との統合を控え、同窓会組織を統合していく方向になるのか。また、統合していくようであれば、校友会組織の法人化を進める方が良いのではないか。

東野会長：市大の同窓会とも調整しながら検討していきたいと思う。

溝口評議員：繰越金額が多くなっているのもっと校友会活動を活発化していただきたい。

東野会長：大学のイメージアップにつながるよう、東京に校友会の拠点事務所を平成 29 年度に検討したが、経費の面でかなり難しい問題があった。私としては、単位同窓会や地域同窓会の更なる支援を検討していきたいと考えている。

《議事録署名人》

大阪府立大学校友会評議員会議長(会長)

東野 亨



大阪府立大学校友会評議員

横山 良平



大阪府立大学校友会評議員

松田 博幸

